

教科	国語	科	科目	現代の国語	単位数	2	単位
学年	1	学年	学科・コース等	普通科・機械電気科			

学習到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

使用教材

教科書	新編現代の国語（東京書籍）
補助教材	基本の現代文（尚文出版） 実践文字カトリプルチェック（尚文出版）

目指す力と評価

	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	実生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価方法	定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・資格試験 ノートやワークシートの内容	定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・資格試験 ノートやワークシートの内容・自己評価	学習態度・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え ノートやワークシートの内容・自己評価

年間学習計画

学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	自己を見つめる	筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。意見の根拠を的確に理解して、筆者の主張をつかむ。	○	○	○
	他者に出会う	評論の書かれ方を理解し、読み方を知る。また、日本文化について興味関心を持ったことを、2分程度でスピーチする。	○	○	○
二学期	言葉と生活 1	自分の決めたテーマに沿って、自分の経験を振り返ったり、人から話を聞いたりして、構成を工夫して意見文を書く。		○	○
	視野を広げる	色について論じた文章を、具体例の役割を押さえながら読み、筆者の価値観と主張をつかむ。	○	○	○
	社会と関わる	「憧れの職業」について調べ、自分の希望を人に伝えるための文章の書き方を確認する。		○	○
三学期	未来に目を向ける	人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み、人間への認識を深める。	○	○	○
	世界とつながる	芸術や歴史の真実に触れ、周囲に広がる世界への理解を深める。	○	○	○

担当者からのメッセージ

言葉を的確に操ることはコミュニケーションの基本です。自分の考えが他者に適切に伝わるように、知識を身に付け、表現力を高めていきましょう。

開拓精神

教科	国語	科	科目	言語文化	単位数	2	単位
学年	1	学年	学科・コース等	普通科・機械電気科			

学習到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

使用教材

教科書	新編言語文化（東京書籍）
補助教材	基本の現代文（尚文出版） 基本の古典（尚文出版） 国語必携ライトパーフェクト演習（尚文出版）

目指す力と評価

	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価方法	定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・資格試験 ノートやワークシートの内容	定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・資格試験 ノートやワークシートの内容・自己評価	学習態度・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え ノートやワークシートの内容・自己評価

年間学習計画

学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1 随筆 生きる喜び	日本独特の桜に対する感性について理解を深める。また、古典の常識について興味をもつ。	○		○
	1 古文入門 古文の世界へ	歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。	○		○
	2 随筆 日々の思い	叙述を的確に捉え、教材について、作者は伝聞したことや自分の考えをどのようにまとめているかを考える。	○	○	○
二学期	1 漢文入門 訓読の基本	漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。	○		○
	4 小説 葛藤する心	極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考え発表する。	○	○	○
	4 物語 古人の生き方	歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。和歌は重要なコミュニケーションツールであったことを確認する。	○	○	○
三学期	3 詩歌 命をうたう	短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉に込められた情景や心情を読み取る。	○	○	○
	1 漢文入門 故事成語	故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。	○	○	○

担当者からのメッセージ

我が国の伝統的な文化を継承すべく、基礎知識から学びましょう。
また、文学的な文章を読み味わい、登場人物の心情に迫りましょう。

開 拓 精 神

整理番号	0103
単位数	2 単位

教科	国語 科	科目	論理国語
学年	2 学年	学科・コース等	普通科・機械電気科

学習到達目標	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させる。</p>	
使用教材	
教科書	新編論理国語（東京書籍）
補助教材	基礎現代文（尚文出版） 実践文字カトリプルチェック（尚文出版）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<p>実生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。</p>	<p>論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p>	<p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
評価方法	<p>定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・資格試験 ノートやワークシートの内容</p>	<p>定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・資格試験 ノートやワークシートの内容・自己評価</p>	<p>学習態度・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え ノートやワークシートの内容・自己評価</p>

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1 論理と出会う	論理的・非論理的の違いを考える。筆者は論理をどのようなものとしてとらえているのかを読み解く。	○	○	○
	2 具体と抽象	文章中の具体例について、それぞれがどのようなことを説明するために挙げられているのかを考える。	○	○	○
二学期	3 対比をとらえる	対比関係を意識して表にまとめる。それを基に、筆者の主張を考察する。	○	○	○
	4 主張をつかむ	筆者の述べるキーワードの意味するところを説明する。それを基に、筆者の主張を考察する。	○	○	○
	5 論理的に書く	根拠を踏まえて主張を書くために、きちんと構成を考えた文章するように努める。		○	○
三学期	6 統計資料を活用する	本文中の資料を活用し、気づいたことを話し合う。データのまとめ方によって、主張が変わることを理解する。	○	○	○
	7 比べて読む	人間と言葉や文化の関係が変化していると思う具体例を挙げ、古き良きものの行方について話し合う。	○	○	○

担当者からのメッセージ
<p>自己の主張を相手に正確に伝えるためには、論理的な話し方が大切です。人間関係が円滑に進むように、しっかり身に付けましょう。</p>

開拓精神

整理番号	0104
単位数	3 単位

教科	国語 科	科目	論理国語
学年	3 学年	学科・コース等	普通科・機械電気科

学習到達目標	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させる。</p>	
使用教材	
教科書	新編論理国語（東京書籍）
補助教材	新成現代文（尚文出版） 国語常識の総演習（啓隆社）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<p>実生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。</p>	<p>論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p>	<p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
評価方法	<p>定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・資格試験 ノートやワークシートの内容</p>	<p>定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・資格試験 ノートやワークシートの内容・自己評価</p>	<p>学習態度・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え ノートやワークシートの内容・自己評価</p>

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1 自己を見つめて	<p>私たちが新しい時代を幸せに歩いていくために、掘り下げていきたいことや、探究したいことを考える。</p>	○	○	○
	2 思考を深める	<p>筆者の主張の根拠は何かを本文全体を踏まえて考える。</p>	○	○	○
二学期	3 社会に向かって	<p>自己を客観的に見つけ、志望理由書や自己推薦書を作成する。</p>		○	○
	4 視点を変えて	<p>筆者の主張に対して、賛成・反対の立場を明確にして、自分がどう考えるかをまとめる。</p>	○	○	○
	5 問いを深めて書く	<p>統計資料から問いを立てて、構成を考え、小論文を書く。</p>		○	○
三学期	6 現代を考える	<p>自分がこれまで政治について考えてきたことと文章に書いてあることを比較する。</p>	○	○	○
	7 未来に目を向けて	<p>将来はどのようになるかを文章中から読み取り、まとめ、自己の意見を持つ。</p>	○	○	○

担当者からのメッセージ
<p>自己の主張を相手に正確に伝えるためには、論理的な話し方が大切です。人間関係が円滑に進むように、しっかり身に付けましょう。</p>

開 拓 精 神

教科	国語	科目	文学国語	単位数	4	単位
学年	3 学年	学科・コース等	普通科			

学習到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させる。

使用教材

教科書	高等学校 標準文学国語（第一学習社）
補助教材	新成現代文（尚文出版） 国語常識の総演習（啓隆社）

目指す力と評価

	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価方法	定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・資格試験 ノートやワークシートの内容	定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・資格試験 ノートやワークシートの内容・自己評価	学習態度・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え ノートやワークシートの内容・自己評価

年間学習計画

学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	現代の小説（一）	文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。	○	○	○
	現代の小説（二）	登場人物の発言から表に表れない心情を読み取り、人間の関係性の深浅について考察する。	○	○	○
	随想	抽象的な内容がどのように説明されているかを理解する。	○	○	○
二学期	近代の小説（一）	主人公と取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解く。	○	○	○
	現代の小説（三）	短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返す度に実感される主人公の変化を読み取る。	○	○	○
	近代の小説（二）	主人公と周囲の人々の考えの違いを通して、価値判断や評価について考えを深める。	○	○	○
三学期	現代の小説（四）	作品中の表現に注意しながら、主人公の心情の変化を読み取る。	○	○	○
	創作をする	物語が人間にとって持つ意味を考え、表現に注意しながら、物語を創作する。		○	○

担当者からのメッセージ

文学的作品は人生を豊かにしてくれます。様々な種類の作品を読んで、人間性を高めましょう。

開拓精神

整理番号	0106
単位数	2 単位

教科	国語 科	科目	古典探究
学年	2 学年	学科・コース等	普通科

学習到達目標	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	
使用教材	
教科書	新編古典探究（東京書籍）
補助教材	基礎古典（尚文出版） 国語必携パーフェクト演習（尚文出版）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価方法	定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・資格試験 ノートやワークシートの内容	定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・資格試験 ノートやワークシートの内容・自己評価	学習態度・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え ノートやワークシートの内容・自己評価

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1 説話に親しむ	登場人物の謎解きの様子を説明する。登場人物の考えを理解する。	○	○	○
	1 故事と小話	登場人物の関係性について話し合う。巧みな比喻によって何が言いた文章なのかを読み取る。	○	○	○
二学期	3 作り物語を読む	キーアイテムが登場人物にどのような変化をもたらしたかを考える。	○	○	○
	3 史記を読む	登場人物を敵味方に分けて整理する。 文中の漢詩に込められた心情を読み取る。	○	○	○
	5 日記を読む	作品の冒頭部分から何が分かるか考える。 文中の和歌に込められた心情を読み取る。	○	○	○
三学期	6 軍記物語を味わう	作品中の登場人物がどのように描かれているかをまとめる。 和漢混淆文を読み味わう。	○	○	○
	4 中国の知恵	故事成語の成り立ちと、現在使用されている意味を考える。	○	○	○

担当者からのメッセージ
古典作品はその時代に生きた人々の証です。先人のものの考え方や感じ方などを、自分に引き寄せて読み味わいましょう。

開拓精神

教科	国語	科目	古典探究	単位数	3	単位
学年	3	学年	学科・コース等	普通科		

学習到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

使用教材

教科書	新編古典探究（東京書籍）
補助教材	基礎古典（尚文出版） 国語必携パーフェクト演習（尚文出版）

目指す力と評価

	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価方法	定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・資格試験 ノートやワークシートの内容	定期考査・小テスト・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え・資格試験 ノートやワークシーの内容・自己評価	学習態度・提出物の状況 パフォーマンスの出来映え ノートやワークシートの内容・自己評価

年間学習計画

学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1 随筆を味わう	会話主を指摘しながら、本文を読む。 まとめの一文に込められた作者も気持ちを考える。	○	○	○
	1 小話を読む	文章の内容がどのようなものか読み取り、故事成語の意味を考える。	○	○	○
二学期	2 歌物語を楽しむ	文中の和歌から読み取れる男の心情はどのようなものかを考える。	○	○	○
	3 史記を味わう	本文を正しく理解し、登場人物の言動を整理する。	○	○	○
	3 歴史物語を読む	文中の和歌から読み取れる登場人物の心情はどのようなものかを考える。	○	○	○
三学期	5 作り物語を味わう	文中の登場人物がどのように描かれているか読み取る。 主人公が少女に思いを寄せる過程を丹念に読み取る。	○	○	○
	4 中国の思想	諸子百家の思想を文章の読解から学ぶ。	○	○	○

担当者からのメッセージ

古典作品はその時代に生きた人々の証です。先人のものの考え方や感じ方などを、自分に引き寄せて読み味わいましょう。

開拓精神